地域創生戦略関係事業実施状況１

精華町総合戦略策定事業

事業目的

「人を育み未来をひらく学研都市精華町」の実現に向けた「精華町総合戦略」を策定する。

事業概要

専門的調査の実施経費

- 人口ビジョン策定調査経費
- 地域経済・交流人口調査経費

総合戦略案に関する意見集約に係る事業経費

- 住民、学研立地企業等の意識調査実施経費
- 関係団体及び住民等を交えた検討会議の運営経費
- 外部有識者等へのヒアリング（意見聴取）経費

事業決算額

基礎交付分　8,915,600円

事業成果

国のまち･ひと･しごと創生法に基づき、地方創生に関する施策についての基本的な計画を定めるため、本町における長期的な人口動向を推計した「精華町人口ビジョン」を策定するとともに、本町の実情に対応した地方版総合戦略として「精華町地域創生戦略」を策定した。（計画期間:平成27年度～平成31年度）

･有識者会議の開催

「産官学金労言」の6分野及び町内において地域活動を行う各種団体等からの有識者で構成する「精華町まち･ひと･しごと創生有識者会議」を開催。

･基礎調査

人口ビジョン策定にあたっての、国勢調査やその他各種資料等、国の提供する地域経済分析システム（RESAS）を活用した調査･分析。

･意見聴取

住民意識調査、小中学生対象のアンケート、子ども議会等での意見聴取を行うとともに、素案策定時においてはパブリックコメントを実施する等して戦略策定に反映。

主な経費

・戦略策定に係る基礎調査委託　8,769,600円
・有識者会議謝礼　146,000円

地域創生戦略関係事業実施状況２
精華町シティプロモーション推進事業①
誘客拡大に向けた情報発信の強化事業

事業目的

交流人口の拡大に向けて、地域の魅力をインターネットや動画等の多様なメディアで情報発信するほか、サブカルチャーなどにおける創作活動支援等、けいはんな学研都市における多様な文化の創造・発信を促進する。

事業概要

- 広報キャラクターによる情報発信ツール(ボイスロイド等）の製作
- SNS、動画配信など、さまざまなメディアを用いたインターネット上での情報発信
- 創作活動支援イベントの開催（せいか祭り、コスプレ・萌えキャライベント等）

事業決算額

基礎交付分　8,953,200円　追加交付分　2,846,738円

事業成果

·音声合成機能の開発

多様な情報発信の手法として、音声合成による広報素材（ボイスロイド）の開発を行った。

また、クラウドファンディング（インターネットを用いたプロジェクト型ふるさと納税の募集）を行い、集まった資金により声優の起用や衣装制作を併せて実施。

·動画によるＰＲ素材の作成

インターネット上でのユーチューブ(動画配信サイト)等での配信による広報に活動できる動画コンテンツを作成

主な経費

・広報用音声合成機能開発　7,362,400円

(ふるさと納税実績　4,068,500円)

・SEIKAサブカルフェスタ　1,500,000円
・町PR動画製作　432,000円
・記者会見バックパネル購入　429,840円
・SNS配信等広報用PC購入　351,346円

地域創生戦略関係事業実施状況３
精華町シティプロモーション推進事業②
地域に誇りを持つ教育の推進事業

事業目的

未来を担う子どもたちに、世界最先端の科学と文化が集積する学研都市にふさわしい学びの機会を提供するため、「科学のまちの子どもたち」プロジェクトを推進するとともに、地域公共人材の育成を図る。

事業概要

- 科学のまちの子どもたち」プロジェクト推進体制の整備
- 地域の人材発掘と育成のための地域公共人材プログラムの実施

事業決算額

基礎交付分　892,056円　追加交付分　1,534,221円

事業成果

·科学体験プログラムの実施

大学の教員、研究機関の研究者など各分野の専門家で構成されるサイエンスサポーターが年間を通じて子どもたちを継続的に指導するプログラムを実施·科学体験フェスティバルの実施

けいはんな学研都市および周辺地区の大学や研究機関、企業が一堂に会し、科学工作実験や科学体験教室などを通じて子どもたちが科学のふしぎや面白さを体験する機会を提供。 親子連れ１８００人が参加。

·せいかまちづくり塾の実施

地域公共人材の育成に向けての、各種講義の実施(全5回、受講者10)名

主な経費

- 科学体験プログラム負担金 682,056円
- 科学体験フェスティバル開催 1,491,021円
- せいかまちづくり塾 200,000円

地域創生戦略関係事業実施状況４
精華町シティプロモーション推進事業③
ふるさとの魅力づくり事業

事業目的

各地域の歴史・景観をはじめとする地域資源を再発見し、情報を整理・集積し公開する等することで地域の活性化につなげる。また、より多くの住民が「ふるさとは“ここ精華町”」と感じられるよう、子どもや高齢者、障害者等にやさしい情報発信を推進する。

事業概要

- 地域の名物スポットの整理・公開及び精華町ふるさと案内人等による、まちあるきイベント等の開催
- 地域の民具などの歴史的資料のデジタルミュージアム化

事業決算額

基礎交付分　1,000,000円　追加交付分　2,568,413円

事業成果

·町ＰＲパンフレットの作成

町外からの訪問者等に対する本町のＰＲ及び町勢情報を発信することを目的に、パンフレット冊子「創精記」を作成

·ふるさとデジタルアーカイブ「せいか舎」

インターネットを通してまちの歴史・文化を、画像や動画等を用いて分かりやすく全国に発信するデジタルミュージアム、精華町の豊かな地域の記憶をデジタル化し、ふるさとの未来を担う子どもたちにつなぐデジタルアーカイブ（記録保管所）、写真資料等を中心に、地域地域住民参加型の資料収集の３つの役割を担うweb上の民族博物館の構築

主な経費

・PRパンフレット制作(一部経費)　1,000,000円
・デジタルミュージアム構築　2,568,413円

地域創生戦略関係事業実施状況５
精華町シティプロモーション推進事業④
地元産品・観光ブランド力強化事業

事業目的

地元産品の販売力向上や販路拡大による六次産業化へ向けた取り組み、地域資源の観光コンテンツ化等による地域ブランドの創造・強化を図る。

事業概要

- 広報キャラクターを活用したブランド力向上（商品ラベル、グッズ等）
- 観光案内等の作成、観光コンテンツの強化

事業決算額

基礎交付分　1,271,376円　追加交付分　2,022,370円

事業成果

·デジタルサイネージ用コンテンツ

京都駅等でのサイネージ広報実証実験などに参加するためのサイネージシステム構築とコンテンツを作成

·ツアー・オブ・ジャパン京都ステージPR

平成28年5月に初開催となった国際的な自転車ロードレース「ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ」を交流人口拡大の好機ととらえ、各種の啓発・PR素材を作成。

・東西連絡通路観光案内パネル

近鉄とJRの駅を結ぶ東西連絡通路上において、広報キャラクターを用いた学研都市精華町の広報やスイーツタウンのPR等の案内パネルを作成

・町勢60周年記念動画

町勢60周年を記念し、過去10年間の出来事をまとめたPR動画を作成

主な経費

・ツアー·オブ·ジャパン啓発素材　871,776円
・デジタルサイネージシステム購入　844,894円
・サイネージ用動画コンテンツ作成　324,000円
・東西連絡通路観光案内(一部経費)　561,600円
・町勢60周年記念動画作成　373,476円

地域創生戦略関係事業実施状況６
精華町シティプロモーション推進事業⑤
スポーツ・健康増進による地域活性化事業

事業目的

ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ開催を契機に、自転車を核とした交流人口の増加、地域のＰＲを図る。また、ウォーキングを中心に町を挙げて健康づくりに取り組む「せいか３６５プロジェクト」の推進に向けた情報発信に取り組む。

事業概要

- ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ開催に向けた環境整備
- 健康関連の産学公連携による社会的実証の実施
- 「せいか３６５プロジェクト」の啓発、健康づくりイベントの開催

事業決算額

基礎交付分　6,355,640円　追加交付分　1,199,610円

事業成果

·ツアー·オブ·ジャパン環境整備

ツアー·オブ·ジャパン京都ステージ開催を契機として、サイクルスポーツの振興等を図るためコース環境を整備

·歩数計アプリの改修

同志社大学との連携も図りつつ、独自に開発している健康増進アプリ「セイカ歩数計」の移植、多言語化

·せいか365プロジェクト推進

町を挙げての健康づくり運動「せいか３６５プロジェクト」推進を目的に啓発グッズやキャラクター着ぐるみ等を作成

主な経費

- ツアー·オブ·ジャパン環境整備
  (ゲート設置経費一部)　2,000,000円
- 歩数計アプリ改修(iPhone対応、英語化)
  3,439,800円
- せいか３６５啓発素材の作成、イベント
  981,450円
- 健康増進キャラクター着ぐるみ　756,000円